

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

追加型投信／海外／資産複合

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2022年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書 (全体版)

第8期 (決算日 2019年9月20日)

第9期 (決算日 2019年12月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第9期の決算を行ないました。

ここに、第8期、第9期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
(設定日) 2017年9月15日	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	10,000	% -	% -	百万円 1,757
第1期末(2017年12月20日)	10,194	60	2.5	10,361	3.6	10,642	6.4	99.1	5,104
第2期末(2018年3月20日)	9,102	60	△10.1	9,802	△5.4	9,443	△11.3	99.0	4,812
第3期末(2018年6月20日)	9,563	60	5.7	10,107	3.1	10,066	6.6	98.8	4,762
第4期末(2018年9月20日)	9,751	60	2.6	10,290	1.8	10,725	6.6	99.0	3,712
第5期末(2018年12月20日)	9,517	60	△1.8	9,376	△8.9	10,472	△2.4	99.0	3,574
第6期末(2019年3月20日)	10,256	60	8.4	10,292	9.8	11,468	9.5	99.0	3,238
第7期末(2019年6月20日)	10,521	60	3.2	10,386	0.9	11,576	0.9	99.0	2,516
第8期末(2019年9月20日)	10,431	60	△0.3	10,601	2.1	11,440	△1.2	99.0	2,198
第9期末(2019年12月20日)	10,645	60	2.6	11,162	5.3	11,626	1.6	99.0	2,121

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

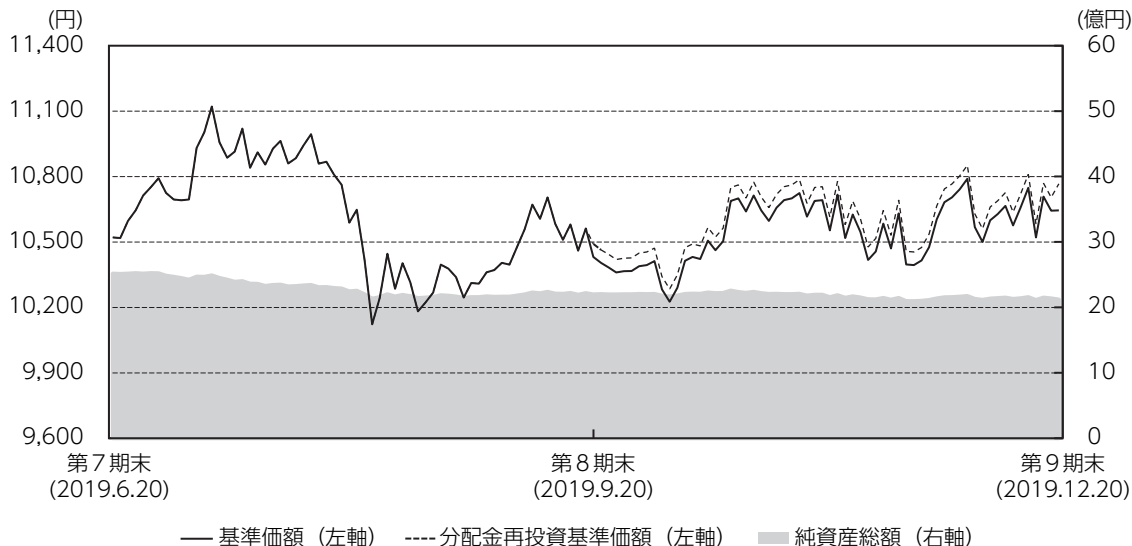
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第8期	(期 首)2019年 6 月20日	10,521	—	10,386	—	11,576	—	99.0
	6 月末	10,792	2.6	10,590	2.0	11,815	2.1	99.0
	7 月末	10,868	3.3	10,893	4.9	11,866	2.5	99.0
	8 月末	10,361	△ 1.5	9,923	△ 4.5	11,360	△ 1.9	99.0
	(期 末)2019年 9 月20日	10,491	△ 0.3	10,601	2.1	11,440	△ 1.2	99.0
第9期	(期 首)2019年 9 月20日	10,431	—	10,601	—	11,440	—	99.0
	9 月末	10,367	△ 0.6	10,447	△ 1.5	11,318	△ 1.1	99.0
	10月末	10,700	2.6	10,841	2.3	11,818	3.3	99.0
	11月末	10,682	2.4	10,955	3.3	11,887	3.9	99.1
	(期 末)2019年12月20日	10,705	2.6	11,162	5.3	11,626	1.6	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第8期首：10,521円

第9期末：10,645円（既払分配金120円）

騰落率：2.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。各国中央銀行が利下げなどの金融緩和政策を実施したことなどを受けて、長期金利は低下傾向となり、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は堅調に推移しました。また、米中通商協議の進展や英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる政治リスクが減少したことなどを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルが対円で上昇したこともプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首より2019年7月にかけて、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き下げを実施し、今後の見通しについても引き続き緩和的な政策を維持すると表明したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において今後の利下げの方向性が示されたことなどから長期金利が低下し、リートやインフラ銘柄は堅調に推移しました。8月から当作成期末にかけては、リートやインフラ銘柄はおおむね横ばいで推移しました。9月には、ドイツを中心とした財政拡大政策への期待感や米中通商協議の進展期待などから、これまで世界的に大きく低下してきた長期金利は反発し、リートやインフラ銘柄が下落する局面もありましたが、10月にはRBAが再度利下げを実施したことや、リートやインフラ銘柄の堅調な業績動向などを背景に値を戻す展開となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

当作成期首より2019年7月にかけて、オーストラリア・ドルは対円で堅調に推移しましたが、8月には米中貿易摩擦が深刻さを増す中、投資家のリスク回避姿勢が強まり大きく下落しました。9月には、米中通商協議が再開される見込みとなったことや、米国が対中追加関税の税率引き上げ期限の延期を発表したことなどからオーストラリア・ドルは対円で上昇しました。10月から当作成期末にかけては、米中通商協議において第一段階の合意に達し年内の追加関税が見送られたことや、英国のEU（欧州連合）離脱について与党保守党が総選挙で勝利するなど秩序ある離脱に向けて進展がみられたことから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オフィスやショッピングモールなどを開発・運営する総合型リートで、都市部の住宅開発も手がけるMIRVAC GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

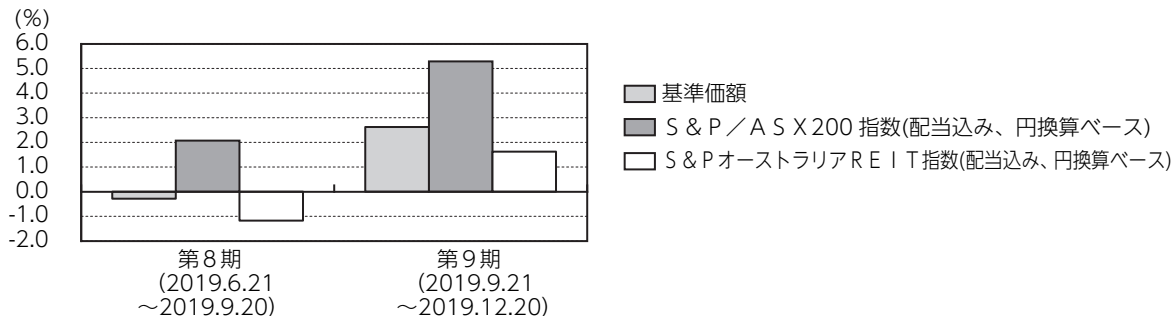
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第8期は60円、第9期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
	2019年6月21日 ~2019年9月20日	2019年9月21日 ~2019年12月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60
対基準価額比率（%）	0.57	0.56
当期の収益（円）	60	60
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	734	819

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税込み）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税込み）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「翌期繰越分配対象額」は、当期の分配金支払い後の「経費控除後の配当等収益」、「経費控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買損益」、「分配準備積立金」、「収益調整金」の合計であり、基準価額を上回る場合があります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	128.93円	145.57円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	68.98	78.88
(d) 分配準備積立金	596.23	655.54
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	794.14	879.99
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	734.14	819.99

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

1 万口当りの費用の明細

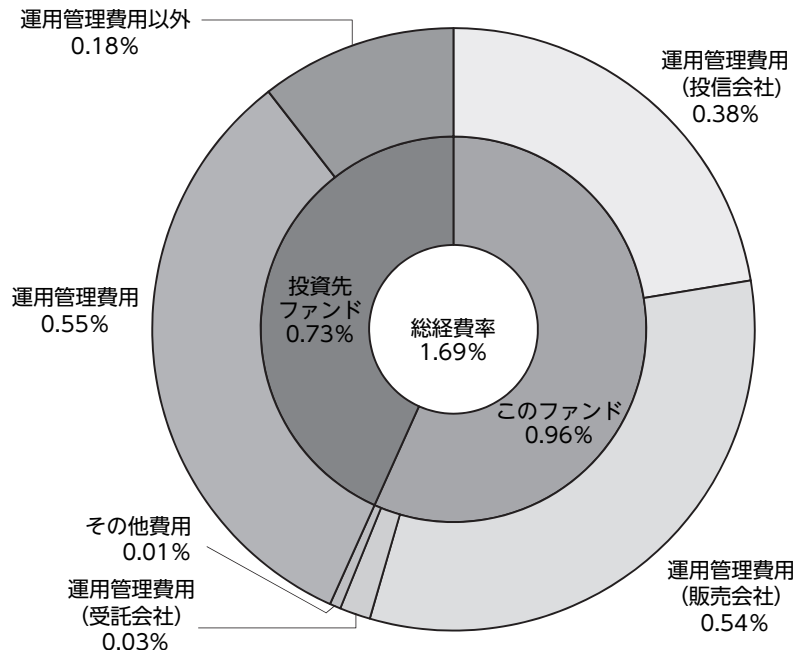
項 目	第 8 期～第 9 期		項 目 の 概 要
	(2019年6月21日～2019年12月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0.476%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は10,584円です。
（投信会社）	(20)	(0.190)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(29)	(0.272)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	51	0.481	

- (注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注 4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率 (①+②+③)	1.69%
①このファンドの費用の比率	0.96%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年6月21日から2019年12月20日まで)

決算期		第8期～第9期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	108,701.452	112,000	472,609.383	506,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第9期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	1,992,427.136	2,098,623	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,097	
合計	1,993,530.246	2,099,721	<99.0%>
	銘柄数 <比率>	2銘柄	

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月20日現在

項目	第9期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,099,721	97.4
コール・ローン等、その他	55,253	2.6
投資信託財産総額	2,154,974	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年9月20日)、(2019年12月20日)現在

項目	第8期末	第9期末
(A) 資産	2,216,554,526円	2,154,974,938円
コール・ローン等	28,677,261	26,253,732
投資信託受益証券(評価額)	2,176,877,265	2,099,721,206
未収入金	11,000,000	29,000,000
(B) 負債	18,166,524	33,538,104
未払収益分配金	12,645,213	11,956,879
未払解約金	-	16,327,054
未払信託報酬	5,457,836	5,194,732
その他未払費用	63,475	59,439
(C) 純資産総額(A-B)	2,198,388,002	2,121,436,834
元本	2,107,535,632	1,992,813,290
次期繰越損益金	90,852,370	128,623,544
(D) 受益権総口数	2,107,535,632口	1,992,813,290口
1万口当り基準価額(C/D)	10,431円	10,645円

(注) 元本状況
期首元本額 2,392,162,760円 2,107,535,632円
追加設定元本額 49,882,463円 30,526,230円
一部解約元本額 334,509,591円 145,248,572円

■損益の状況

第8期 自2019年6月21日 至2019年9月20日

第9期 自2019年9月21日 至2019年12月20日

項目	第8期	第9期
(A) 配当等収益	32,694,943円	31,802,014円
受取配当金	32,698,977	31,805,661
受取利息	107	66
支払利息	△ 4,141	△ 3,713
(B) 有価証券売買損益	△ 33,852,328	28,019,744
売買益	8,939,196	30,135,515
売買損	△ 42,791,524	△ 2,115,771
(C) 信託報酬等	△ 5,521,311	△ 5,254,171
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,678,696	54,567,587
(E) 前期繰越損益金	125,656,634	99,090,498
(F) 追加信託差損益金	△ 15,480,355	△ 13,077,662
(配当等相当額)	(14,538,272)	(15,718,927)
(売買損益相当額)	(△ 30,018,627)	(△ 28,796,589)
(G) 合計(D+E+F)	103,497,583	140,580,423
(H) 収益分配金	△ 12,645,213	△ 11,956,879
次期繰越損益金(G+H)	90,852,370	128,623,544
追加信託差損益金	△ 15,480,355	△ 13,077,662
(配当等相当額)	(14,538,272)	(15,718,927)
(売買損益相当額)	(△ 30,018,627)	(△ 28,796,589)
分配準備積立金	140,185,053	147,689,191
繰越損益金	△ 33,852,328	△ 5,987,985

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 8 期	第 9 期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,173,632円	29,008,897円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 収益調整金	14,538,272円	15,718,927円
(d) 分配準備積立金	125,656,634円	130,637,173円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	167,368,538円	175,364,997円
(f) 1万口当り当期分配対象額	794.14円	879.99円
(g) 分配金	12,645,213円	11,956,879円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 8 期	第 9 期
1万口当り分配金（税引前）	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

○該当事項はありません。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第8期 (決算日 2019年8月15日)

第9期 (決算日 2019年11月15日)

(作成対象期間 2019年5月16日~2019年11月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落 中率	(参考指数)	期 騰落 中率	(参考指数)	期 騰落 中率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2017年11月15日)	10,307	110	4.2	10,382	3.8	10,479	4.8	17.7	-	70.0	4,097
2 期末 (2018年 2 月15日)	9,275	100	△9.0	10,041	△3.3	9,735	△7.1	17.8	-	75.7	4,616
3 期末 (2018年 5 月15日)	9,593	120	4.7	10,421	3.8	10,212	4.9	18.0	-	78.8	4,801
4 期末 (2018年 8 月15日)	9,665	100	1.8	10,495	0.7	10,654	4.3	18.6	-	78.0	3,813
5 期末 (2018年11月15日)	9,655	120	1.1	9,989	△4.8	10,679	0.2	18.7	-	79.0	3,540
6 期末 (2019年 2 月15日)	9,895	90	3.4	10,060	0.7	11,252	5.4	19.7	-	78.0	3,554
7 期末 (2019年 5 月15日)	10,119	230	4.6	10,181	1.2	11,276	0.2	22.0	-	76.3	2,524
8 期末 (2019年 8 月15日)	10,212	160	2.5	10,237	0.6	11,645	3.3	21.6	-	74.6	2,116
9 期末 (2019年11月15日)	10,277	160	2.2	10,924	6.7	11,910	2.3	19.8	-	77.5	2,079

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

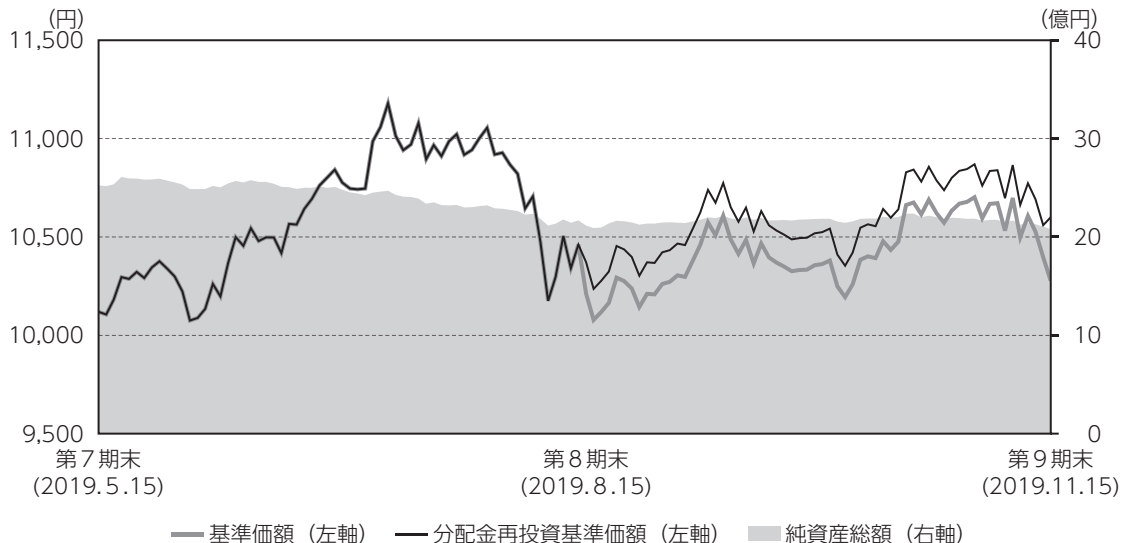
(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第8期首：10,119円

第9期末：10,277円（既払分配金320円）

騰落率：4.8%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。各国中央銀行が利下げなどの金融緩和政策を実施したことなどを受けて、長期金利は下落傾向となり、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は堅調に推移しました。一方、力強さに欠ける国内経済などを背景にRBA（オーストラリア準備銀行）が利下げを実施したことなどから、オーストラリア・ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
第8期	(期首)2019年5月15日	円 10,119	% -	10,181	% -	11,276	% -	% 22.0	% -	% 76.3
	5月末	10,075	△0.4	10,395	2.1	11,390	1.0	21.9	-	76.4
	6月末	10,776	6.5	10,861	6.7	12,112	7.4	22.4	-	75.2
	7月末	10,868	7.4	11,020	8.2	12,180	8.0	22.0	-	75.6
	(期末)2019年8月15日	10,372	2.5	10,237	0.6	11,645	3.3	21.6	-	74.6
第9期	(期首)2019年8月15日	10,212	-	10,237	-	11,645	-	21.6	-	74.6
	8月末	10,272	0.6	10,120	△1.2	11,695	0.4	21.2	-	75.3
	9月末	10,356	1.4	10,701	4.5	11,690	0.4	21.2	-	74.5
	10月末	10,702	4.8	11,011	7.6	12,191	4.7	20.4	-	77.7
	(期末)2019年11月15日	10,437	2.2	10,924	6.7	11,910	2.3	19.8	-	77.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.5.16~2019.11.15)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

当作成期首から2019年7月にかけては、6月と7月にRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き下げを実施し、今後の見通しについても引き続き緩和的な政策を維持すると表明したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において今後の利下げの方向性が示されたことなどから長期金利が低下し、リートやインフラ銘柄は堅調に推移しました。8月から当作成期末にかけては、リートやインフラ銘柄はおおむね横ばいの推移となりました。9月には、ドイツを中心とした財政拡大政策への期待感や米中通商協議の進展期待などから、それまで世界的に大きく下落してきた長期金利は反発し、リートやインフラ銘柄が下落する局面もありましたが、10月にはRBAが再度利下げを実施したことや、リートやインフラ銘柄の堅調な業績動向などを背景に値を戻す展開となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年7月にかけてはおおむね横ばいで推移しましたが、8月には米中貿易摩擦が深刻さを増す中で投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。9月から当作成期末にかけては、米中通商協議が再開される見込みとなったことや、米国が対中追加関税の税率引き上げ期限の延期を発表したこと、また英国のEU（欧州連合）離脱について進展が見られたことなどから投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2019.5.16～2019.11.15)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

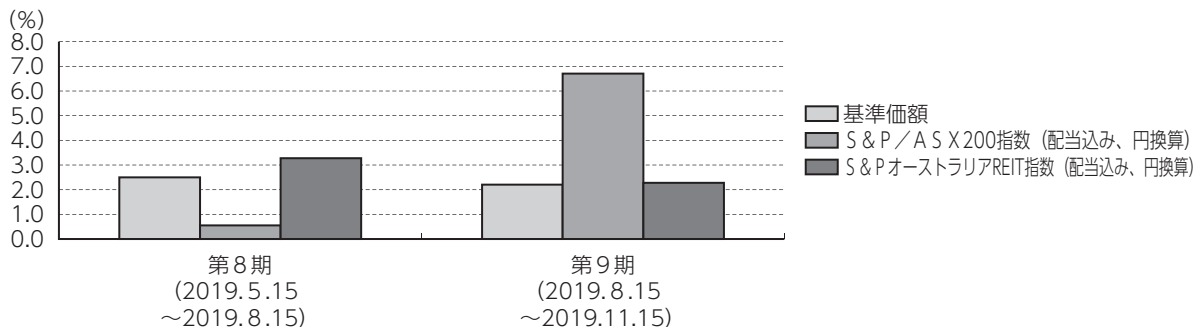
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オフィスやショッピングモールなどを開発・運営する総合型リートで、都市部の住宅開発も手がけるMIRVAC GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
	2019年5月16日 ～2019年8月15日	2019年8月16日 ～2019年11月15日
当期分配金（税込み）（円）	160	160
対基準価額比率（%）	1.54	1.53
当期の収益（円）	150	155
当期の収益以外（円）	10	5
翌期繰越分配対象額（円）	212	277

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 105.58円	✓ 108.23円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 125.15	✓ 114.13
(c) 収益調整金	97.30	104.25
(d) 分配準備積立金	✓ 44.06	✓ 110.65
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	372.10	437.29
(f) 分配金	160.00	160.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	212.10	277.29

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第8期～第9期 (2019.5.16～2019.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.281%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,516円です。
(投 信 会 社)	(28)	(0.262)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.071	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.015)	
(投資信託証券)	(6)	(0.056)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	9	0.085	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(6)	(0.053)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	46	0.436	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

決算期	第8期～第9期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	126,051	160,100	587,958	766,300

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

項目	第8期～第9期	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	144,581千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	494,313千円	
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.29	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第7期末		第9期末	
	□数	□数	□数	評価額
	千口	千口	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	2,033,522	1,571,615	2,039,014	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月15日現在

項目	第9期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	2,039,014	96.4
コール・ローン等、その他	76,192	3.6
投資信託財産総額	2,115,206	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝73.82円、1ニュージーランド・ドル＝69.36円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第9期末における外貨建純資産(2,035,126千円)の投資信託財産総額(2,040,336千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月15日)、(2019年11月15日)現在

項目	第8期末	第9期末
(A) 資産	2,153,801,704円	2,115,206,970円
コール・ローン等	83,942,765	76,192,869
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	2,068,458,939	2,039,014,101
未収入金	1,400,000	—
(B) 負債	37,581,387	35,504,585
未払収益分配金	33,156,274	32,377,441
未払解約金	1,000,000	—
未払信託報酬	3,391,622	3,063,621
その他未払費用	33,491	63,523
(C) 純資産総額(A-B)	2,116,220,317	2,079,702,385
元本	2,072,267,143	2,023,590,064
次期繰越損益金	43,953,174	56,112,321
(D) 受益権総口数	2,072,267,143口	2,023,590,064口
1万口当り基準価額(C/D)	10,212円	10,277円

*第7期末における元本額は2,495,372,746円、当作成期間(第8期～第9期)中における追加設定元本額は123,789,821円、同解約元本額は595,572,503円です。

*第9期末の計算口数当りの純資産額は10,277円です。

■ 損益の状況

第8期 自2019年5月16日 至2019年8月15日
 第9期 自2019年8月16日 至2019年11月15日

項 目	第 8 期	第 9 期
(A) 配当等収益	△ 2,235円	△ 1,927円
受取利息	227	108
支払利息	△ 2,462	△ 2,035
(B) 有価証券売買損益	55,586,304	48,095,801
売買益	79,369,427	51,997,956
売買損	△23,783,123	△ 3,902,155
(C) 信託報酬等	△ 3,425,273	△ 3,093,659
(D) 当期損益金(A + B + C)	52,158,796	45,000,215
(E) 前期繰越損益金	4,786,439	22,392,495
(F) 追加信託差損益金	20,164,213	21,097,052
(配当等相当額)	(962,235)	(2,140,303)
(売買損益相当額)	(19,201,978)	(18,956,749)
(G) 合計(D + E + F)	77,109,448	88,489,762
(H) 収益分配金	△33,156,274	△32,377,441
次期繰越損益金(G + H)	43,953,174	56,112,321
追加信託差損益金	20,164,213	21,097,052
(配当等相当額)	(962,235)	(2,140,303)
(売買損益相当額)	(19,201,978)	(18,956,749)
分配準備積立金	23,788,961	35,015,269

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 8 期	第 9 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,879,209円	21,903,208円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	25,935,377	23,097,007
(c) 収益調整金	20,164,213	21,097,052
(d) 分配準備積立金	9,130,649	22,392,495
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	77,109,448	88,489,762
(f) 分配金	33,156,274	32,377,441
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	43,953,174	56,112,321
(h) 受益権総口数	2,072,267,143口	2,023,590,064口

収益分配金のお知らせ		
	第 8 期	第 9 期
1万口当たり分配金	160円	160円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2019年8月5日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第9期の決算日（2019年11月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

買		付			売		付		
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
					CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)		71	39,683	558
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		57	34,154	599
					AGL ENERGY LTD (オーストラリア)		14	21,133	1,509
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		80	19,724	246
					MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)		58	19,602	337
					AUSNET SERVICES (オーストラリア)		70	10,282	146

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

買		付			売		付		
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA (オーストラリア)		111	20,517	184	GOODMAN GROUP (オーストラリア)		63	69,893	1,109
GOODMAN GROUP (オーストラリア)		13	13,651	1,050	TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)		56	61,794	1,103
CHARTER HALL LONG WALE REIT (オーストラリア)		28	10,995	392	SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)		88	52,918	601
RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)		65	9,462	145	CENTURIA METROPOLITAN REIT (オーストラリア)		200	43,100	215
					VICINITY CENTRES (オーストラリア)		215	41,070	191
					APA GROUP (オーストラリア)		38	31,883	839
					SCENTRE GROUP (オーストラリア)		105	30,899	294
					CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)		35	29,768	850
					MIRVAC GROUP (オーストラリア)		85	20,684	243
					STOCKLAND (オーストラリア)		64	20,317	317

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年11月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（1,572,590千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	2019年11月15日現在			業種等
	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	2,435.63	444	32,813	公益事業
AGL ENERGY LTD	490	979	72,271	公益事業
ATLAS ARTERIA	955.32	746	55,077	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,880.95 2,169	160,161 <7.8%>	
(ニュージーランド)	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,740	800	55,515	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	296	20,563	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	3,362.22	1,085	75,324	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	87	6,074	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,970	1,365	94,690	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	7,778.22 3,635	252,169 <12.4%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,659.17 8銘柄	412,331 <20.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2019年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	2019年11月15日現在			
	口数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千円	千円	
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	102.741	359	26,545	
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	180	13,360	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	155.139	541	39,968	
AVENTUS GROUP	144.113	404	29,893	
RURAL FUNDS GROUP	170.96	305	22,527	
VIVA ENERGY REIT	31.797	83	6,196	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	28.341	152	11,276	
CENTURIA METROPOLITAN REIT	176.445	546	40,378	
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	150	11,132	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	1.647	0	20	
TRANSURBAN GROUP	166.862	2,504	184,889	
SYDNEY AIRPORT	148	1,303	96,252	
APA GROUP	138.847	1,537	113,464	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	190.486	390	28,826	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	111	297	21,959	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	168.919	712	52,621	
NATIONAL STORAGE REIT	129.798	246	18,205	
SCENTRE GROUP	383	1,493	110,264	
ARENA REIT	221.314	637	47,051	
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	64.386	206	15,257	
DEXUS	116	1,354	100,017	
GPT GROUP	150.7	904	66,748	
CHARTER HALL RETAIL REIT	28.761	127	9,384	
MIRVAC GROUP	479	1,551	114,565	
STOCKLAND	287.055	1,418	104,680	
GOODMAN GROUP	177.1	2,564	189,304	
VICINITY CENTRES	153	402	29,704	
CHARTER HALL GROUP	126	1,348	99,524	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,207.487 28銘柄	21,728 <78.6%>	1,604,021 <78.6%>
(ニュージーランド)	千口	千円	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	91	6,339	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	43	3,022	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	134 <0.5%>	9,362 <0.5%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,287.459 30銘柄	- <79.1%>	1,613,384 <79.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、2019年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2019年8月5日）

（作成対象期間 2019年2月5日～2019年8月5日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

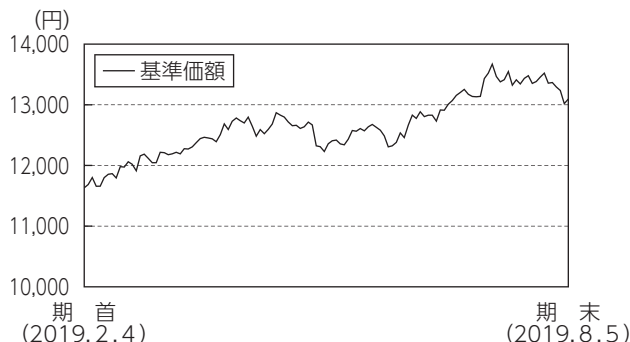
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 率
	円	%	(参考指数)	%	(参考指数)	%	%	%	%
(期首)2019年2月4日	11,632	-	12,264	-	11,503	-	19.2	-	78.3
2月末	12,046	3.6	12,980	5.8	11,829	2.8	19.2	-	79.0
3月末	12,728	9.4	12,997	6.0	12,506	8.7	22.0	-	75.0
4月末	12,668	8.9	13,394	9.2	12,309	7.0	22.1	-	76.5
5月末	12,307	5.8	12,996	6.0	11,906	3.5	22.0	-	76.8
6月末	13,173	13.2	13,578	10.7	12,660	10.1	22.5	-	75.6
7月末	13,293	14.3	13,778	12.3	12,731	10.7	22.1	-	76.0
(期末)2019年8月5日	13,095	12.6	13,213	7.7	12,611	9.6	21.9	-	76.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,632円 期末：13,095円 騰落率：12.6%

【基準価額の主な変動要因】

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇したこと、また各国中央銀行がハト派寄りの姿勢を示したことを受けて、長期金利が下落傾向となり、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄が堅調に推移したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方、弱いインフレ動向などを背景にRBA (オーストラリア準備銀行) による利下げ観測が広がり、オーストラリア・ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリアのリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。

当作成期首から2019年3月にかけては、RBA (オーストラリア準備銀行) 総裁が今後の金融政策について、より慎重な姿勢を示したことやECB (欧州中央銀行) 総裁が金融緩和を継続する姿勢を強く示したことなどから、先進国を中心に長期金利は下落し、リートやインフラ銘柄は上昇しました。4月から5月半ばにかけては、年初から下落を続けてきた長期金利が一時反発したことやトランプ米大統領が対中関税率引き上げを発表したこと、また一部で金利引き下げ観測がある中でRBAが政策金利を据え置いたことなどから、リートやインフラ銘柄は上値の重い展開となりました。5月後半から当作成期末にかけては、オーストラリアの総選挙において、事前の世論調査では劣勢が伝えられていた与党が勝利したことや、RBAが利下げを実施したことなどを受けて、リートやインフラ銘柄は堅調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月前半にかけては、各国中央銀行がハト派寄りの姿勢を示したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは円に対して堅調に推移しました。4月後半から6月にかけては、オーストラリアの2019年1-3月のCPI（消費者物価指数）が市場想定よりも低い数字だったことから、RBA（オーストラリア準備銀行）による利下げ観測が広がったことや実際にRBAが利下げを実施したことなどから、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。8月初旬には、トランプ米国大統領が中国に対して追加関税を実施すると発表したことなどから投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは円に対して下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ関連施設やオフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、シドニー都心に近く、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）、シドニーやメルボルンなどの大都市のビジネス街に、主にプレミアムグレードオフィスを保有・運営するDEXUS（不動産）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ関連施設やオフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	18円
(株式)	(3)
(投資信託証券)	(14)
有価証券取引税	-
その他費用	7
(保管費用)	(4)
(その他)	(3)
合計	25

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2019年2月5日から2019年8月5日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 (84,72)	千オーストラリア・ドル -	百株 4,295	千オーストラリア・ドル 1,643
	ニュージーランド	百株 (-)	千ニュージーランド・ドル (-)	百株 3,820	千ニュージーランド・ドル 1,911

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年2月5日から2019年8月5日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 -	千オーストラリア・ドル (△580,291)	千口 3,599,089	千オーストラリア・ドル 16,252
			(△644)	(-)	(-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2019年2月5日から2019年8月5日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
					CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)		113	60,153	532
					MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)		189	58,932	311
					AGL ENERGY LTD (オーストラリア)		34.5	57,659	1,671
					AUSNET SERVICES (オーストラリア)		360	50,740	140
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		35	19,828	566
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		80	19,724	246

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年2月5日から2019年8月5日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					GOODMAN GROUP (オーストラリア)		177	186,506	1,053
					TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)		157	163,996	1,044
					SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)		254	147,404	580
					STOCKLAND (オーストラリア)		299	88,783	296
					SCENTRE GROUP (オーストラリア)		238	73,463	308
					MIRVAC GROUP (オーストラリア)		285	62,307	218
					VICINITY CENTRES (オーストラリア)		315	61,191	194
					SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)		320	56,782	177
					GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)		175	56,755	324
					ARENA REIT (オーストラリア)		259.3	56,000	215

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	5,950.91	2,435.63	433	31,362	公益事業
AGL ENERGY LTD	905	560	1,145	82,843	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,875.32	1,525.32	1,285	93,018	貴金属・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 8,731.23 5,520.95 <銘柄数<比率>	株数、金額 4,520.95 2,864 3銘柄	2,864	207,224 <9.3%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	3,630	1,740	839	58,247	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	590	282	19,607	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	4,064.03	3,264.03	1,116	77,448	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	116	88	6,108	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	3,280	2,150	1,702	118,140	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 11,680.03 7,860.03 <銘柄数<比率>	株数、金額 7,860.03 4,029 5銘柄	4,029	279,552 <12.6%>	
ファンド合計	株数、金額 20,411.26 12,380.98 <銘柄数<比率>	株数、金額 12,380.98 8銘柄	-	486,777 <21.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
CHARTER HALL EDUCATION TRUST	230.809	101.576	377	27,334
CROMWELL PROPERTY GROUP	293.076	143.076	172	12,471
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	148.467	150.743	486	35,222
AVENTUS GROUP	183.129	139.384	354	25,610
RURAL FUNDS GROUP	101.19	103.542	245	17,751
VIVA ENERGY REIT	30	30.945	82	5,976
PROPERTYLINK GROUP	618.431	-	-	-
CENTURIA METROPOLITAN REIT	411.314	301.314	855	61,903
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	26	13	128	9,263
TRANSURBAN GROUP	332.862	175.862	2,820	204,058
SYDNEY AIRPORT	417	163	1,414	102,349
APA GROUP	211.847	151.847	1,696	122,698
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	504	184	436	31,546
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	343.919	168.919	755	54,621
NATIONAL STORAGE REIT	435.303	126.005	210	15,222
SCENTRE GROUP	656	418	1,713	123,976
ARENA REIT	502.998	254.893	731	52,919
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	102.544	62.544	223	16,152
BWP TRUST	57	-	-	-
DEXUS	145	126	1,689	122,230
GPT GROUP	214.7	174.7	1,112	80,502
CHARTER HALL RETAIL REIT	27	27.859	130	9,451

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
MIRVAC GROUP	千口	千口	千円	千円
STOCKLAND	764	479	1,595	115,387
ABACUS PROPERTY GROUP	586.055	287.055	1,340	96,975
GOODMAN GROUP	90	-	-	-
VICINITY CENTRES	350.1	173.1	2,650	191,712
CHARTER HALL GROUP	523	208	549	39,723
通貨計	口数、金額 8,481.744 28銘柄	口数、金額 4,302.364 25銘柄	23,402	1,692,961 <76.1%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	95	6,607
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	43	3,023
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 79.972 2銘柄	口数、金額 79.972 2銘柄	138	9,630 <0.4%>
合計	口数、金額 8,561.716 30銘柄	口数、金額 4,382.336 27銘柄	-	1,702,592 <76.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月5日現在

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 486,777	% 21.8
投資信託証券	1,702,592	76.3
コール・ローン等、その他	40,635	1.9
投資信託財産総額	2,230,004	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月5日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=72.34円、1ニュージーランド・ドル=69.38円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,215,180千円)の投資信託財産総額(2,230,004千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年8月5日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,230,004,920円
コール・ローン等	23,593,712
株式(評価額)	486,777,207
投資信託証券(評価額)	1,702,592,292
未収配当金	17,041,709
(B) 負債	5,000,157
未払解約金	5,000,000
その他未払費用	157
(C) 純資産総額(A - B)	2,225,004,763
元本	1,699,135,440
次期繰越損益金	525,869,323
(D) 受益権総口数	1,699,135,440口
1万口当り基準価額(C/D)	13,095円

*期首における元本額は3,051,116,356円、当作成期間中における追加設定元本額は37,950,718円、同解約元本額は1,389,931,634円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用)1,698,214,472円、オーストラリア・リアルアセット・ファンド920,968円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は13,095円です。

■損益の状況

当期 自2019年2月5日 至2019年8月5日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	61,720,385円
受取配当金	61,638,934
受取利息	87,805
支払利息	△ 6,354
(B) 有価証券売買損益	313,018,202
売買益	518,164,366
売買損	△205,146,164
(C) その他費用	△ 1,531,664
(D) 当期損益金(A + B + C)	373,206,923
(E) 前期繰越損益金	498,081,484
(F) 解約差損益金	△355,268,366
(G) 追加信託差損益金	9,849,282
(H) 合計(D + E + F + G)	525,869,323
次期繰越損益金(H)	525,869,323

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版) 第3期

(決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日~2019年12月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) の受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税金 込み 円	騰落 率 %			
1期末（2017年12月11日）	9,991	0	△0.1	—	—	百万円 0
2期末（2018年12月10日）	9,963	0	△0.3	—	—	1
3期末（2019年12月9日）	9,952	0	△0.1	—	—	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

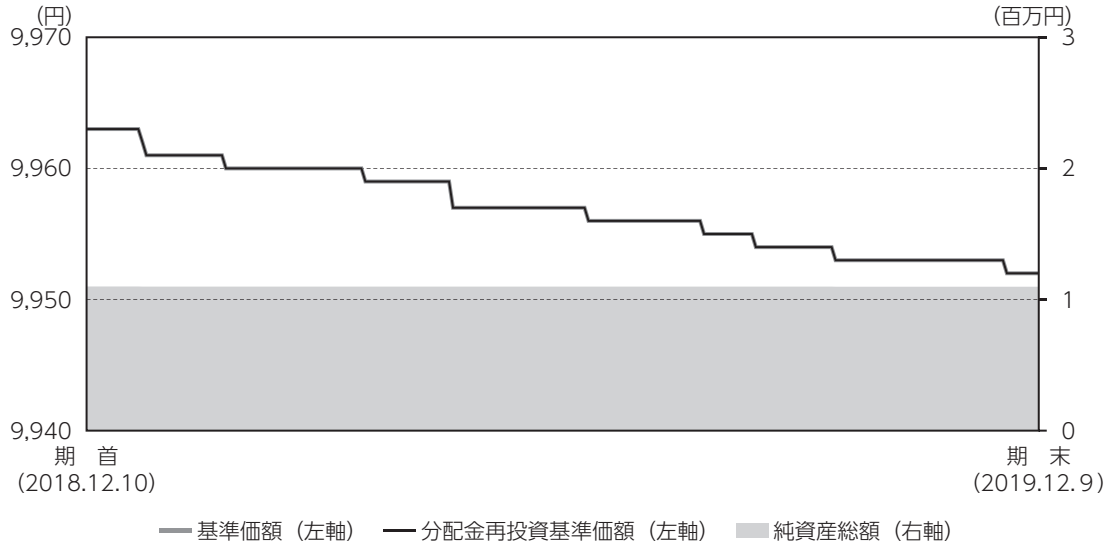
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,963円

期末：9,952円（分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2018年12月10日	円 9,963	% -	% -	% -
12月末	9,963	0.0	-	-
2019年 1 月末	9,961	△0.0	-	-
2 月末	9,960	△0.0	-	-
3 月末	9,959	△0.0	-	-
4 月末	9,959	△0.0	-	-
5 月末	9,957	△0.1	-	-
6 月末	9,956	△0.1	-	-
7 月末	9,956	△0.1	-	-
8 月末	9,954	△0.1	-	-
9 月末	9,953	△0.1	-	-
10月末	9,953	△0.1	-	-
11月末	9,952	△0.1	-	-
(期末) 2019年12月 9 日	9,952	△0.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.12.11～2019.12.9)

■国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2018.12.11～2019.12.9)

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年12月11日 ～2019年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018.12.11~2019.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—	—	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,957円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	5	0.052	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.019)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	5	0.052	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における該当事項はありません。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 330	百万円 330	100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	11,801,588	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	千円	口 数	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,089	1,089	1,089	1,092

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 1,092	% 99.5
コール・ローン等、その他	5	0.5
投資信託財産総額	1,097	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,097,946円
コール・ローン等	5,148
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,092,798
(B) 負債	182
その他未払費用	182
(C) 純資産総額(A - B)	1,097,764
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 5,346
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C/D)	9,952円

*期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,952円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,346円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 872円
売買損	△ 872
(B) 信託報酬等	△ 364
(C) 当期損益金(A + B)	△ 1,236
(D) 前期繰越損益金	△ 1,000
(E) 追加信託差損益金	△ 3,110
(売買損益相当額)	(△ 3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△ 5,346
次期繰越損益金(F)	△ 5,346
追加信託差損益金	△ 3,110
(売買損益相当額)	(△ 3,110)
繰越損益金	△ 2,236

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

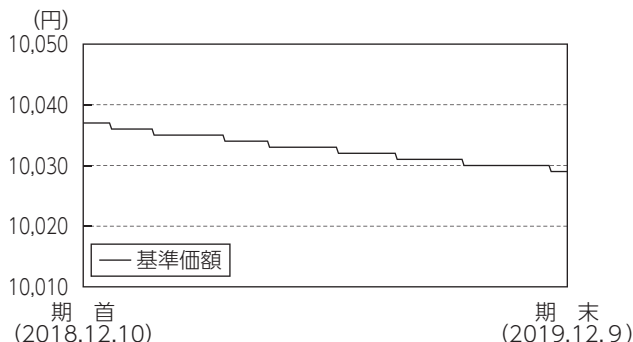
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,037	-	-
12月末	10,037	0.0	-
2019年 1 月末	10,036	△0.0	-
2 月末	10,035	△0.0	-
3 月末	10,034	△0.0	-
4 月末	10,034	△0.0	-
5 月末	10,033	△0.0	-
6 月末	10,032	△0.0	-
7 月末	10,032	△0.0	-
8 月末	10,031	△0.1	-
9 月末	10,030	△0.1	-
10 月末	10,030	△0.1	-
11 月末	10,029	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,029	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,029円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	330,004	(330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801	国庫短期証券 2019/3/18 330,004		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	38,397,784	100.0
投資信託財産総額	38,397,784	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	38,397,784,417円
コール・ローン等	38,397,784,417
(B) 負債	231,026
その他未払費用	231,026
(C) 純資産総額(A - B)	38,397,553,391
元本	38,285,006,118
次期繰越損益金	112,547,273
(D) 受益権総口数	38,285,006,118口
1万口当り基準価額(C / D)	10,029円

* 期首における元本額は69,103,393,644円、当作成期間中における追加設定元本額は48,176,499,313円、同解約元本額は78,994,886,839円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用) 5,951,591,455円、ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用) 17,806,836,243円、ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) 1,089,639円、ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用) 965,948,988円、通貨選択型米国リート・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース) 9,963円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用) 3,421,817,396円、ダイワユーロベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 963,651,156円、ダイワ米ドルベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 1,531,319,164円、ダイワ/ロジャース国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型) 998円、ダイワTOPIXベア・ファンド (適格機関投資家専用) 7,635,801,481円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型) 9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル - 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,029円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 33,300,262円
受取利息	347,877
支払利息	△ 33,648,139
(B) その他費用	△ 13,012,117
(C) 当期損益金(A + B)	△ 46,312,379
(D) 前期繰越損益金	255,922,474
(E) 解約差損益金	△260,877,509
(F) 追加信託差損益金	163,814,687
(G) 合計(C + D + E + F)	112,547,273
次期繰越損益金(G)	112,547,273

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。